JMA マネジメントスクール

生産性向上を実現する
工場レイアウト設計・実践

～ 現場を一新！抜本的な生産性向上を実現する手法を学ぶ ～

開催日時

2024年10月11日(金) 東京会場
2024年12月10日(火) 大阪会場
2025年 2月13日(木) 東京会場

各回とも 10:00～17:00

対　象

- 生産技術部門の中堅スタッフ～マネジャー
- 生産企画・管理部門の中堅スタッフ～マネジャー
- 工場長

講　師

角田 賢司 氏
㈱日本能率協会コンサルティング
シニア･コンサルタント

参加料(税込)

法人会員：57,200円/1名
会 員 外：69,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※お申し込みページ内参加申込規定を確認･同意のうえお申し込みください。

このような課題をお持ちの方におすすめです!

- 既存ラインのレイアウトに問題がある。
- 人の動線、ものの動線に問題がある。
- 既存のラインのリニューアルを行いたい。
- 新ラインを設計しなければいけない。

など

既存ラインの改善だけではなく、新しいラインの設計に携わる方に有益な情報を提供するセミナーです。

本セミナーのポイント

- 生産ラインのレイアウトの良し悪しは生産ラインの効率に大きく影響を与えます。そのため、レイアウト設計に関して事前に検討すべきポイントは多岐にわたります。その検討すべきポイントを理解するとともに、それぞれのポイントを総合的に勘案したレイアウト設計が重要です。
- 本セミナーではレイアウト設計に関する知識を学んでいただくとともに、演習を通じてレイアウト設計の実践力を高めていただくことをねらいとしています。
- また、新しいレイアウトを設計･導入したとしてもその後の運用レベルが高まらなければ本当の競争力を生み出せません。そのため、本セミナーではレイアウト設計のみならず、競争力を高めるための新レイアウト導入後の改善の進め方を説明いたします。
- 具体的には生産ラインの設計に関する基本概念を理解し、レイアウト設計の進め方、その実践方法について学んでいただきます。現場の課題としてあげられる、構内物流の見方と在庫管理についても解説します。
- 既存のラインの効率を高めたい（特にレイアウトに問題があると思っている）方、およびこれから新しいラインの設計に携わる方に有益な情報を提供できることと思います。

■ プログラム

10:00～17:00　［昼食］ 12:00～13:00

1 ものづくり競争力強化の必要性
- ものづくり企業を取り巻く環境変化
- 競争力強化の方向性
- レイアウト設計・導入の必要性

2 レイアウト検討の基礎知識
- 生産方式の見方
- 構内物流の見方
- 在庫の種類と在庫量の見方

3 レイアウト設計の基本手順（SLP法）
- 全体手順（SLP法）
- 標準時間設定
- 作業スペース算出
- 基本レイアウト設計
- レイアウト案の評価方法

4 レイアウト設計グループ演習 グループワーク
- レイアウト案作成と評価に関するグループ演習

5 新レイアウト導入の実践と導入後の課題
- 新レイアウト導入事例と導入のポイント
- レイアウト変更の効果確認
- 垂直立ち上げの考え方
- 日常的な4M変動に対応した安定したモノづくりの重要性

6 質疑

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は JMA100388 検索